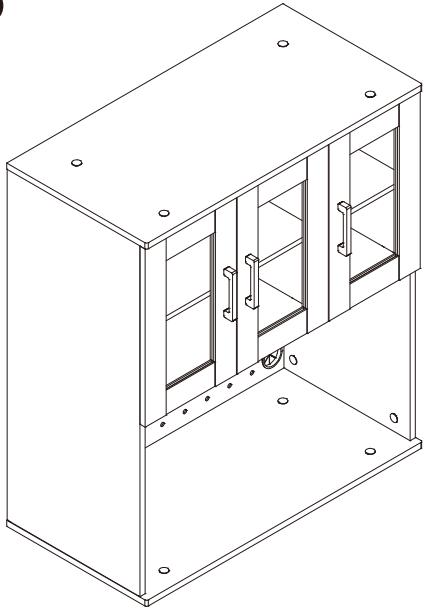


# 食器棚 ガレット80UP



ver. 2

## 点検・お手入れについて

- 汚れを拭く際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、かたく絞った布等で完全に洗剤分を拭き取って下さい。水分等が残りますと商品表面にあとが残る恐れがあります。アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉等は使用しないで下さい。色落ちの原因となります。
- ネジ類は、その取り付けが確実かどうか、時々点検して下さい。
- 設置後は、できるだけこまめに換気を心掛けて下さい。

## 組み立て前によくお読み下さい

### ■ ご準備頂くもの

- プラス(+)ドライバー
- ハサミ、またはカッターナイフ
- 少しだけのダンボール、  
またはやわらかい布(タオルや布団等)

### ■ 組み立ての時の注意

- 商品開梱後、しばらくの間は換気や通風を行うよう心掛けて下さい。
- 安全に組み立てるために2人以上の組み立てをオススメいたします。
- 組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないようにダンボールや、  
やわらかい布等を敷いて行なって下さい。
- ネジは、最初は緩めに組んでおき、最後に全体のバランスを見ながら  
しっかりとネジを締めて下さい。
- 部品は正確に取り付けて下さい。

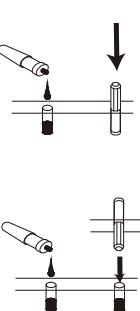
この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みの上、正しい使い方で末長くご愛用下さい。  
なお、この説明書はいつまでもご覧頂けるように大切に保管して頂きますようお願い申し上げます。

## !! 使用上の注意

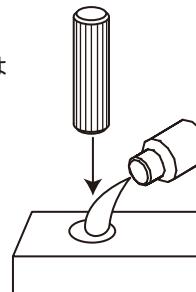
- 本品は屋内用です。
- 移動する際は、必ず、載せているものを全て取り除いてから  
引きずらないよう持ち上げて移動して下さい。  
収納物や商品の転倒、破損・ケガの原因になります。
- 必ず水平で安定した場所に設置して下さい。
- ストーブのそば等、高温多湿の場所での使用は避けて下さい。  
変形や変色の原因になります。
- 水分、油、洗剤等が付着した場合は、素早くふき取って下さい。
- 粘着物をはりつけると、板の表面がはがれる恐れがあるので、  
テープやシール等は貼らないで下さい。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理、改造による故障・破損に対する  
補償等は致しかねます。
- ダンボール箱からの取り出しや組み立ては、2人以上で行なって下さい。

次の部品や小物を使用する場合は、下記の要領を守って正しく組み立ててください

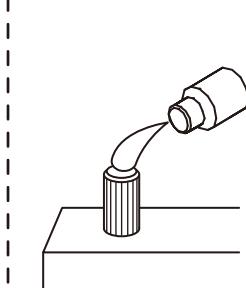


### ■ ボンド・ダボ(接着について)

これらのボンドマークがあるところでは  
右記のようにボンドを使用します。



・ダボ穴にボンドを  
垂らし、ダボを  
その上から差し込みます。

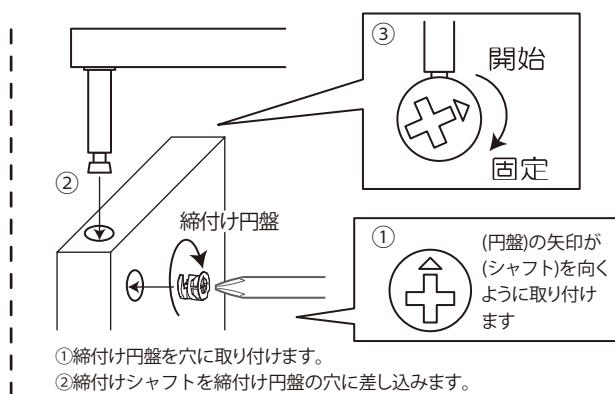
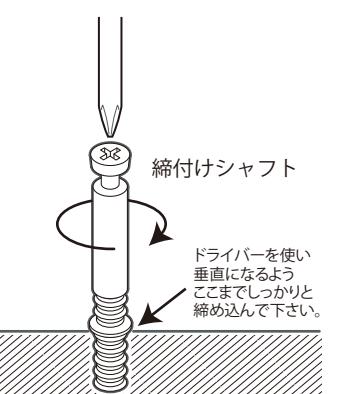


・ダボに直接ボンドを  
垂らし、穴の部分を  
かぶせて取り付けます。

### ■ 締付けシャフト・締付け円盤の使用方法

締付けシャフトと締付け円盤のセットになっています。  
取り付けは下記の方法で行なってください。

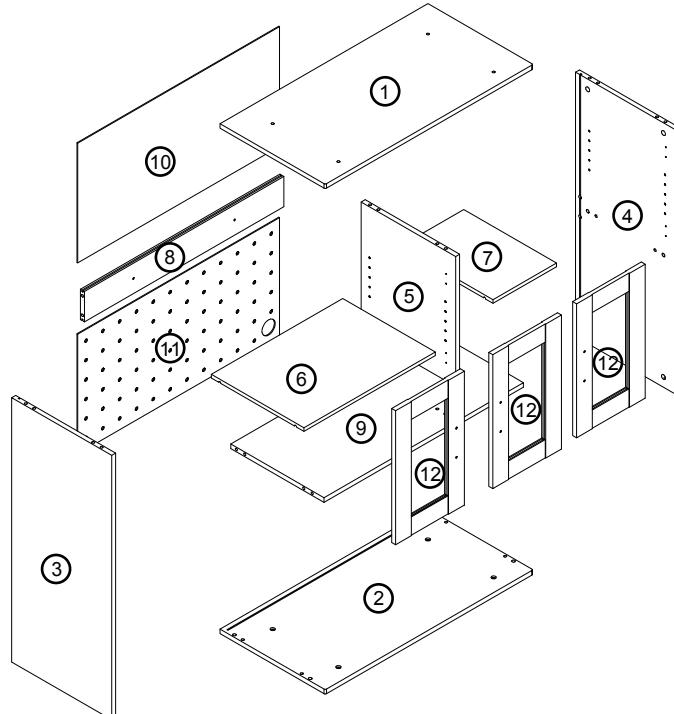
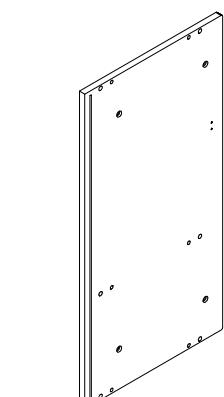
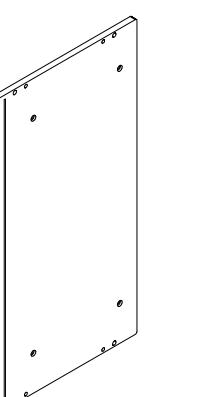
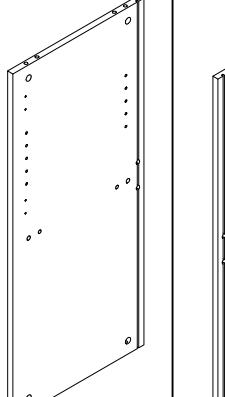
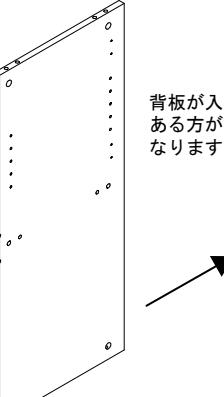
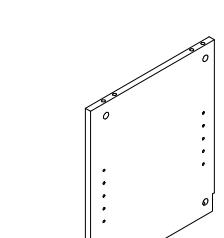
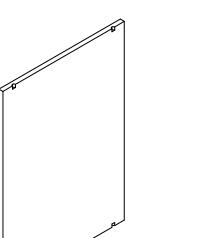
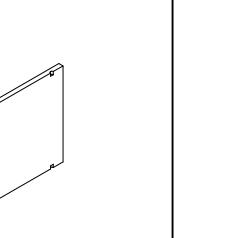
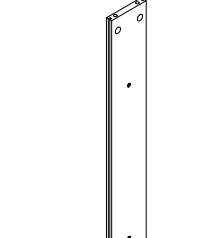
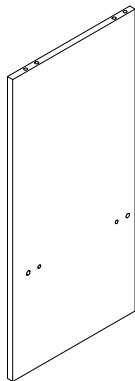
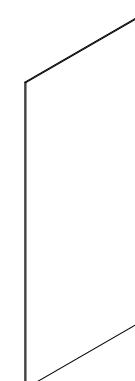
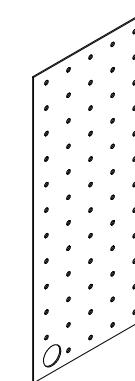
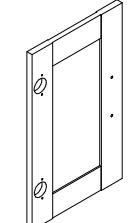
※締付けシャフト・締付け円盤を使用しない商品もあります。  
ご参考にまでご確認下さい。



- ① 締付け円盤を穴に取り付けます。
- ② 締付けシャフトを締付け円盤の穴に差し込みます。
- ③ 締付け円盤を+ドライバーで135°~180°右方向に回して固定します。

【部品明細】 食器棚 ガレット80UP

※組立て前に部品が全て揃っているかご確認下さい。  
 ※組立ては床に布やダンボールを敷いて行い、  
 商品やフローリング、既存の家具等にキズが入らないようご注意下さい。

		① 天板 x 1	② 地板 x 1	③ 左側板 x 1	④ 右側板 x 1
				 背板が入る溝がある方が奥側となります。	 背板が入る溝がある方が奥側となります。
		⑤ 仕切り板 x 1	⑥ 移動棚(大) x 1	⑦ 移動棚(小) x 1	⑧ 背板桿 x 1
					
⑨ 固定板 x 1	⑩ 上背板 x 1	⑪ 下背板 x 1	⑫ ガラス扉 x 3		
					

【部品明細】 食器棚 ガレット80UP

※組立て前に部品が全て揃っているかご確認下さい。  
※組立ては床に布やダンボールを敷いて行い、  
商品やフローリング、既存の家具等にキズが入らないようご注意下さい。

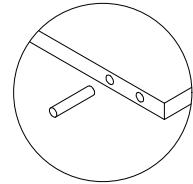
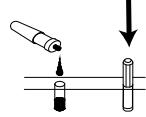
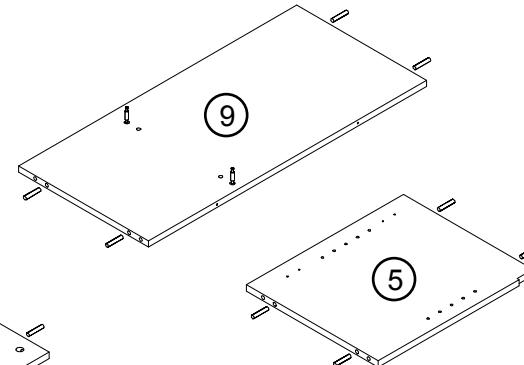
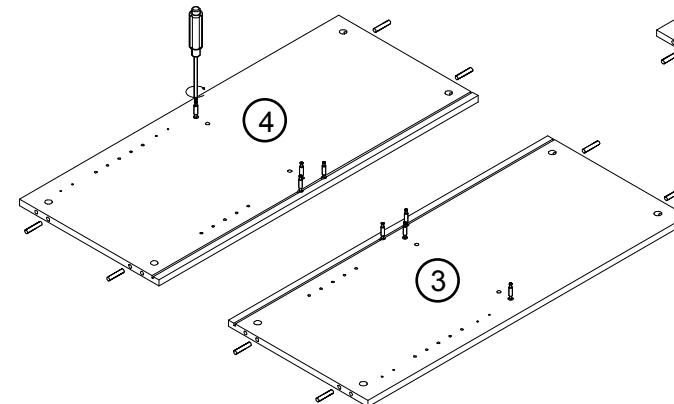
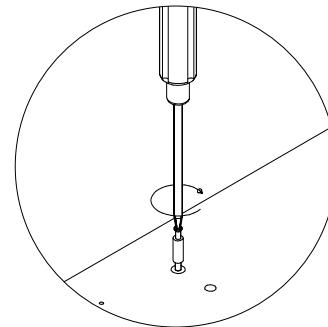
A 締付けシャフト x 20	B 締付け円盤 x 20	C 木ダボ x 16	D 棚ダボ x 8	E 取っ手 x 3	F 扉受け x 1
				専用ネジ x 6 M4x17mm	専用ネジ x 2 M3.5x14mm
G 扉ヒンジ x 4	H 中扉用ヒンジ x 2	I 扉ヒンジ用ネジ x 36	J 背板ストッパー x 12	K 本体固定ネジ x 2	L ボンド x 1
		M3.5x14mm	専用ネジ x 12 M3.5x16mm	M3.5x35mm	
M 転倒防止 x 2	N キャップ x 8	O めし合わせ x 1	P 連結金具 x 2	Q 六角レンチ x 1	R 木目シール x 20
専用ネジ(大) x 2 M3.5x35mm  専用ネジ(小) x 2 M3.5x14mm		44cm	※上段と下段を 連結する際に使用します。	※上段と下段を 連結する際に使用します。	80cm x 30cm
S 石目シール x 8	T コード穴カバー x 1				
80cm x 30cm					

# 食器棚 ガレット80UP

1

- ③左側板・④右側板・⑨固定板にA締付けシャフトとC木ダボを図のように取り付けます。
- ⑤仕切り板にC木ダボを図のように取り付けます。

C木ダボの取り付けには  
Lボンドを使って取り付けて下さい。

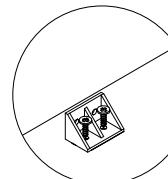
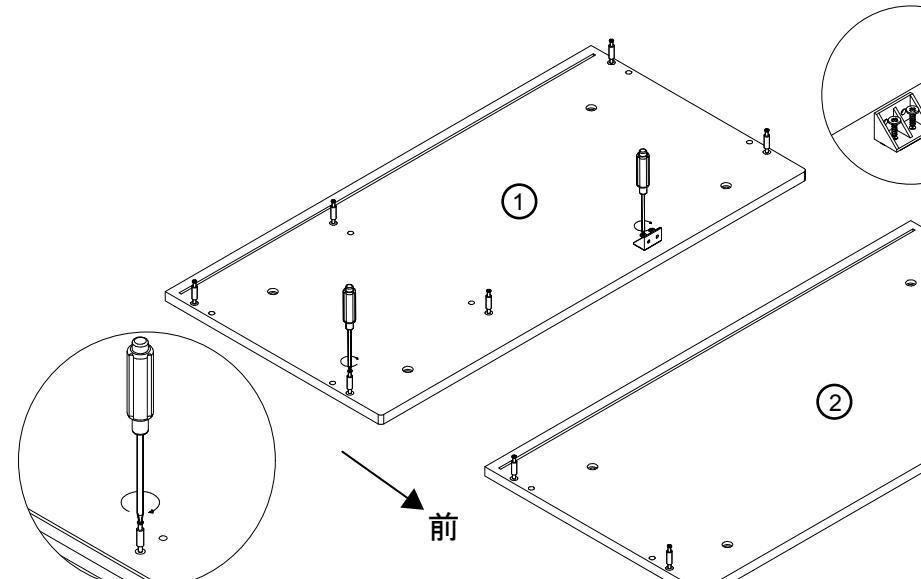


A	10 PCS
C	16 PCS
L	1 PCS

2

- ①天板と②地板にA締付けシャフトを図のように取り付けます。

次に、①天板にF扉受けを専用ネジを使って図のように取り付けます。



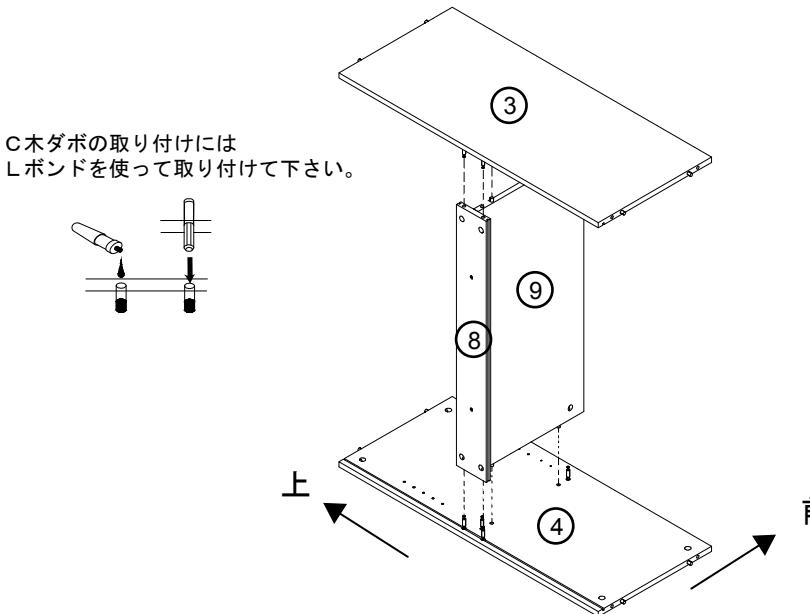
A	10 PCS
F	1 PCS

4

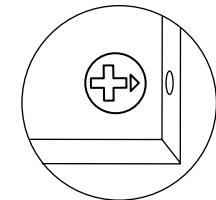
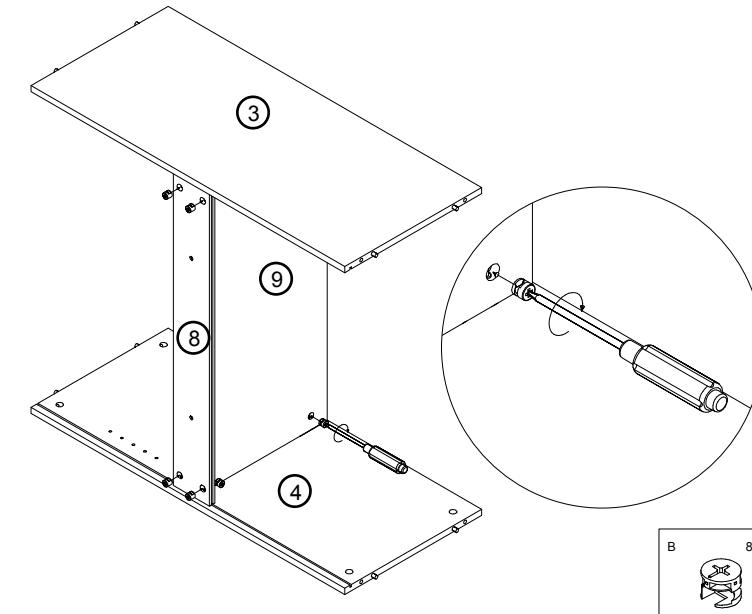
LHT-005

# 食器棚 ガレット80UP

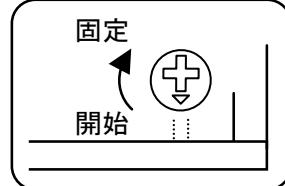
3 ③左側板・④右側板・⑧背板棧・⑨固定板を図のように組み合わせます。



その後、B締付け円盤をはめ込み、図のように固定して下さい。

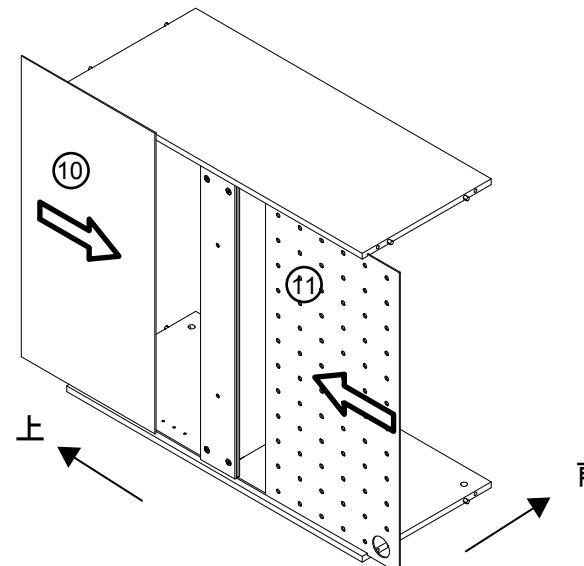


締付け円盤は、締付けシャフトが入る穴へ矢印を向けてはめ込みます。

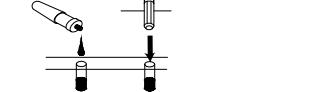
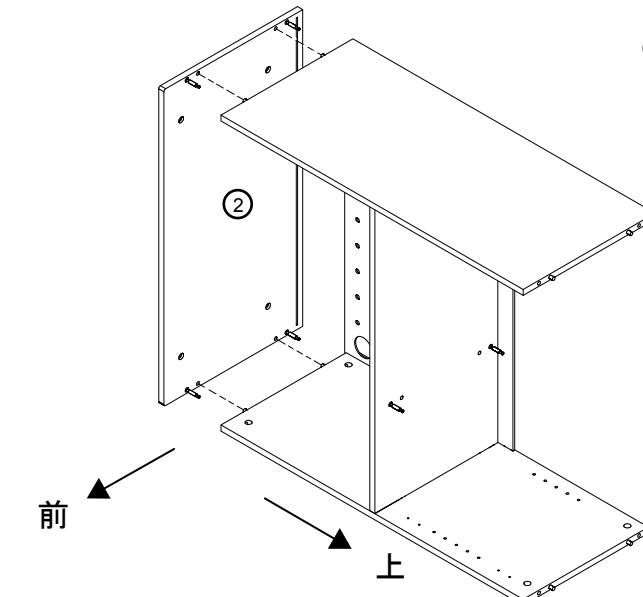


締付け円盤を時計回りに締め付け、しっかりと固定します。

4 ステップ3で作成したパートに⑩上背板・⑪下背板を溝に沿って差し込みます。



5 ②地板を図のように組み合せます。



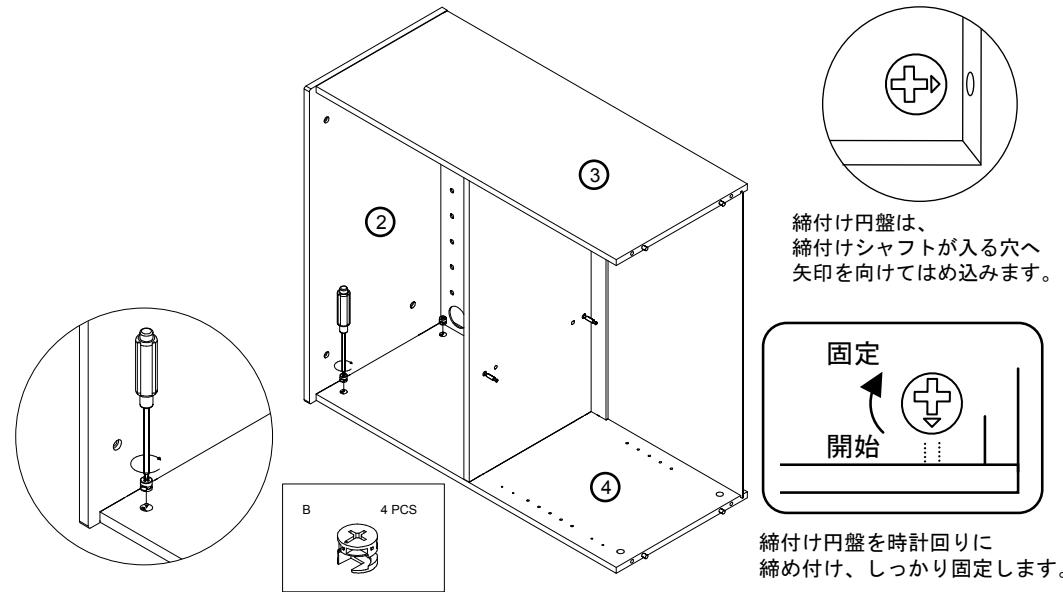
5

LHT-005

# 食器棚 ガレット80UP

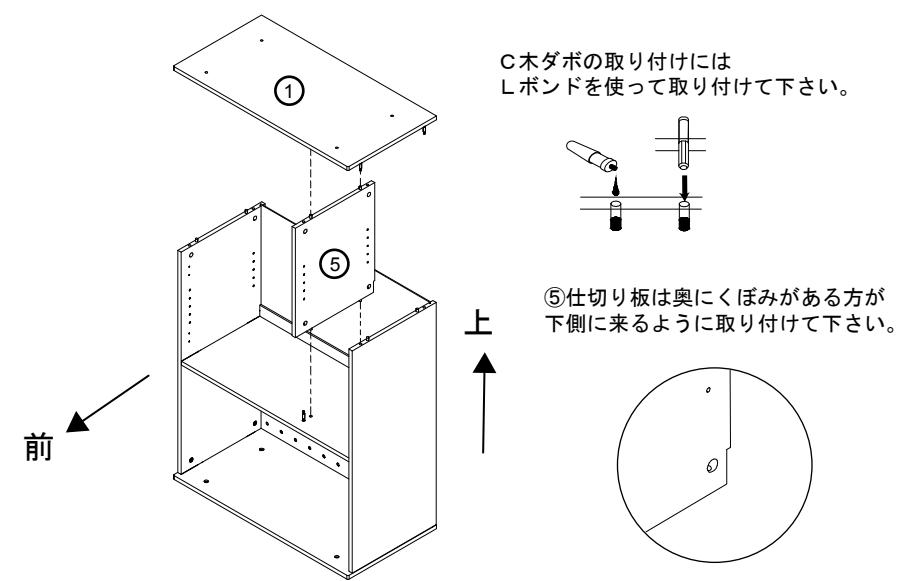
6

- ③左側板・④右側板にB締付け円盤をはめ込み、  
②地板をB締付け円盤を回して図のように固定して下さい。  
(4ヶ所)



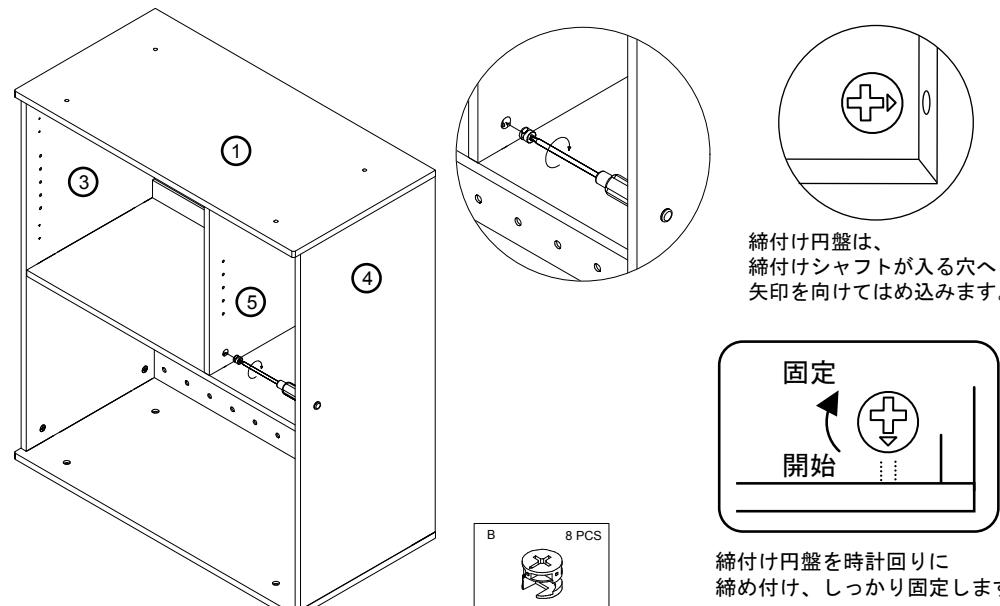
7

- ステップ6で作成したパーツに  
⑤仕切り板と①天板を図のように組み合わせます。



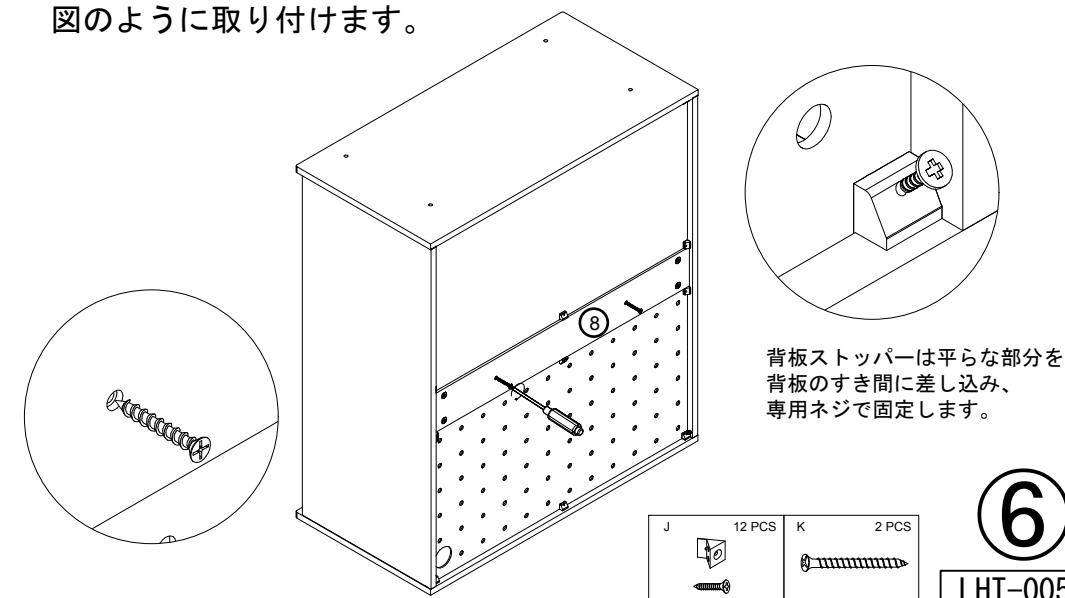
8

- ③左側板・④右側板・⑤仕切り板にB締付け円盤をはめ込み、  
B締付け円盤を回して図のように固定して下さい。 (8ヶ所)



9

- ⑧背板棟と⑨固定板をK本体固定ネジを使って  
背面から図のように固定します。  
その後、背板にJ背板ストッパーを専用ネジを使って  
図のように取り付けます。



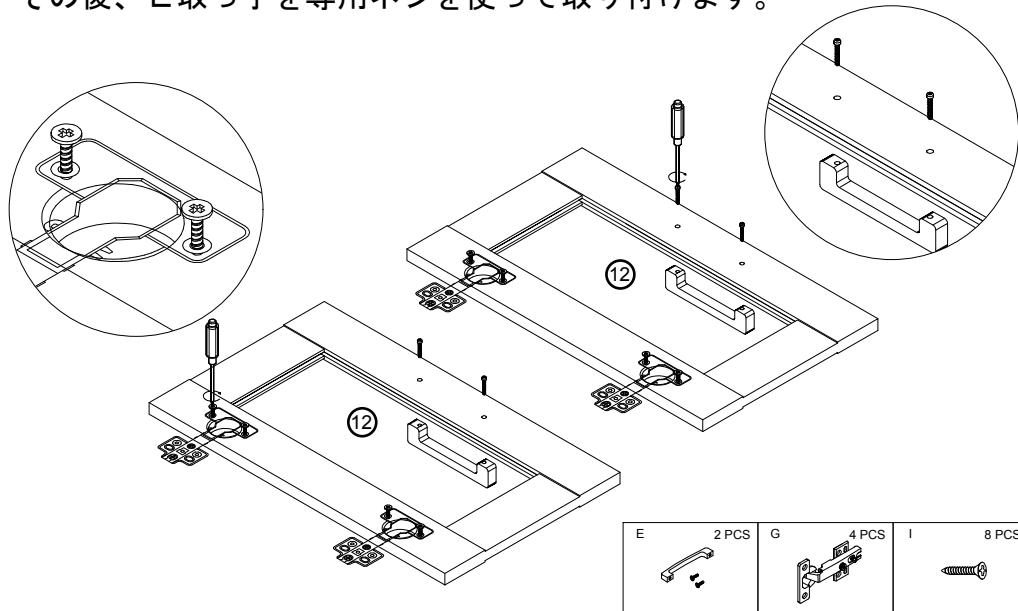
6

LHT-005

# 食器棚 ガレット80UP

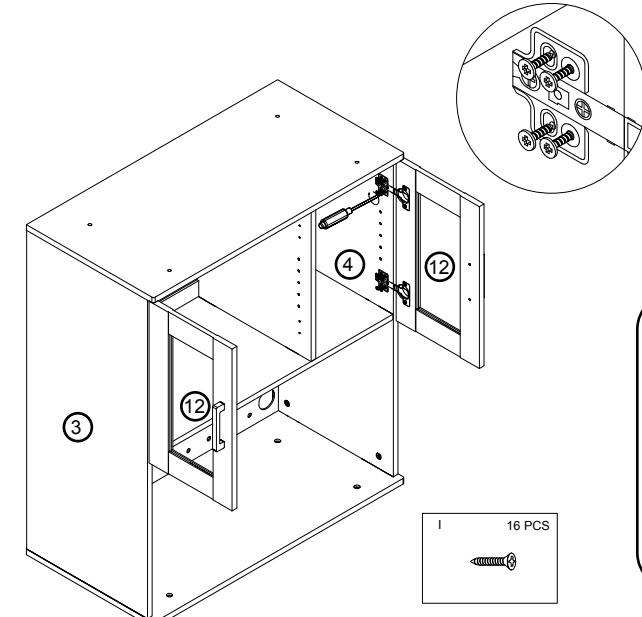
10

- ⑫ガラス扉2枚にG扉ヒンジをI扉ヒンジ用ネジを使って図のように取り付けます。  
その後、E取っ手を専用ネジを使って取り付けます。



11

- G扉ヒンジを取り付けた⑫ガラス扉2枚をI扉ヒンジ用ネジを使って図のように③左側板・④右側板に取り付けます。



※扉ヒンジの楕円形の穴の方には本体に目安穴があります。  
丸型の穴の方には目安穴はありません。

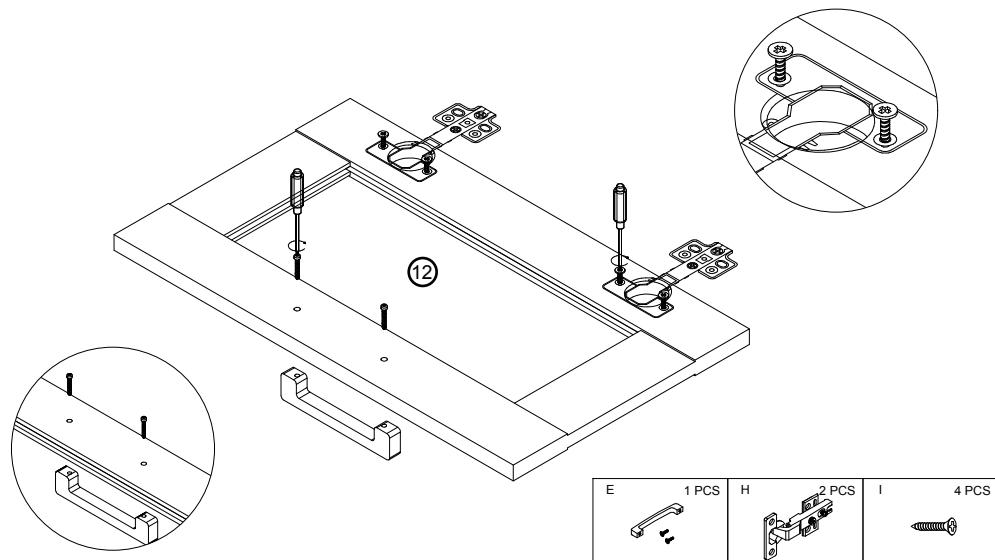
奥側が最初にネジを取り付ける穴  
※高さ調整してから締め付けて下さい。



高さ調整を行った後にネジで固定する穴

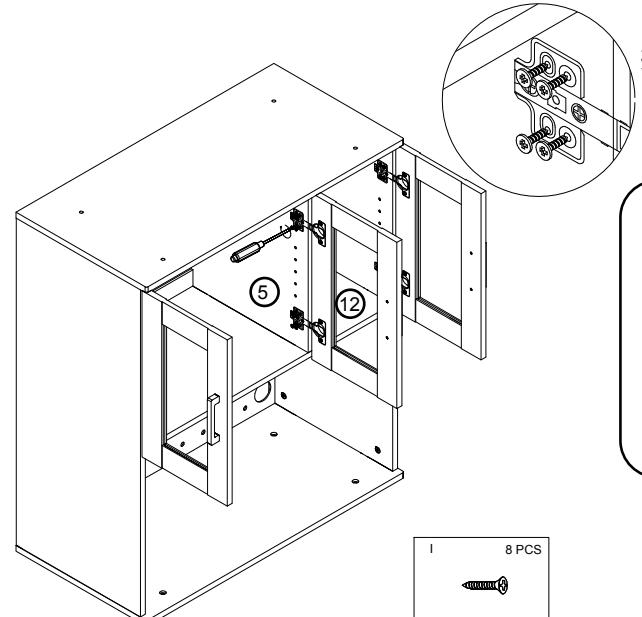
12

- ⑫ガラス扉1枚にH中扉用ヒンジをI扉ヒンジ用ネジを使って図のように取り付けます。  
その後、E取っ手を専用ネジを使って取り付けます。



13

- H中扉用ヒンジを取り付けた⑫ガラス扉をI扉ヒンジ用ネジを使って図のように⑤仕切り板に取り付けます。



※扉ヒンジの楕円形の穴の方には本体に目安穴があります。  
丸型の穴の方には目安穴はありません。

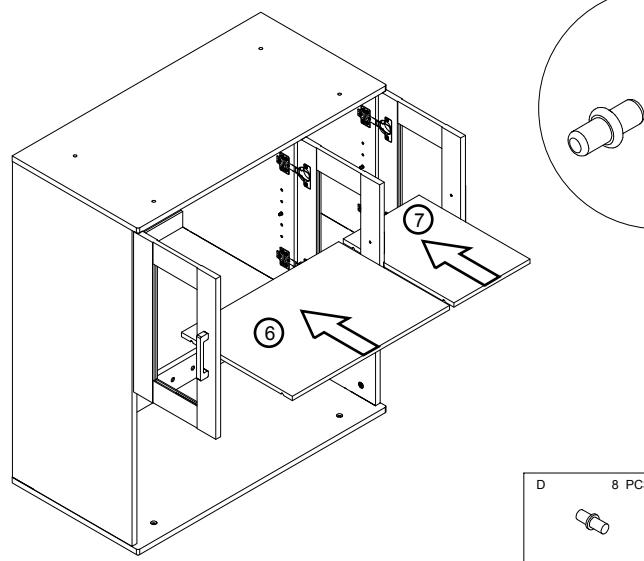
奥側が最初にネジを取り付ける穴  
※高さ調整してから締め付けて下さい。



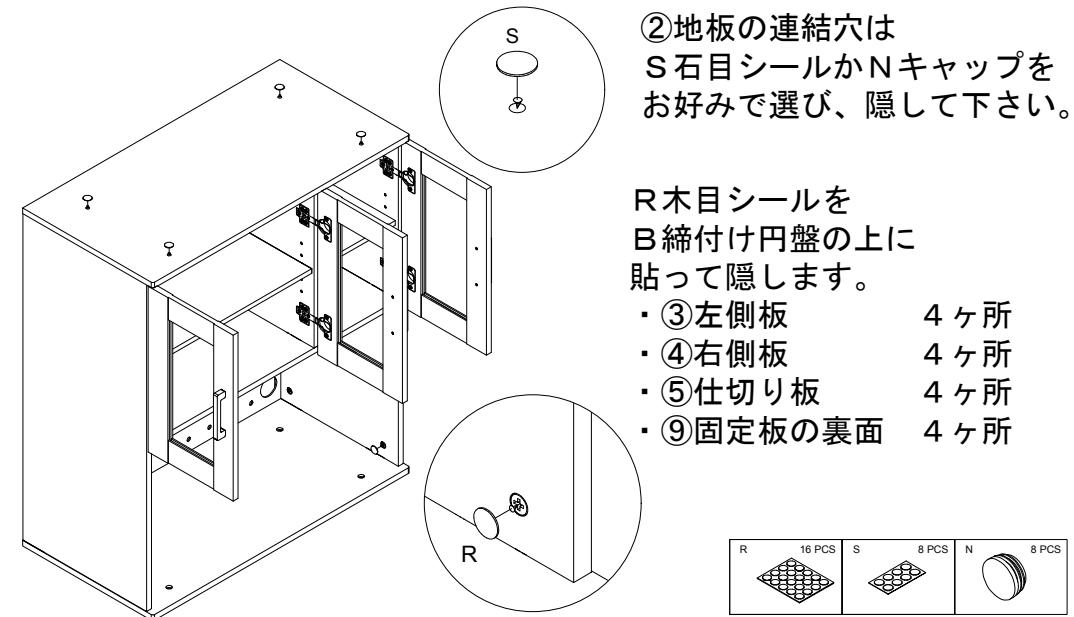
高さ調整を行った後にネジで固定する穴

# 食器棚 ガレット80UP

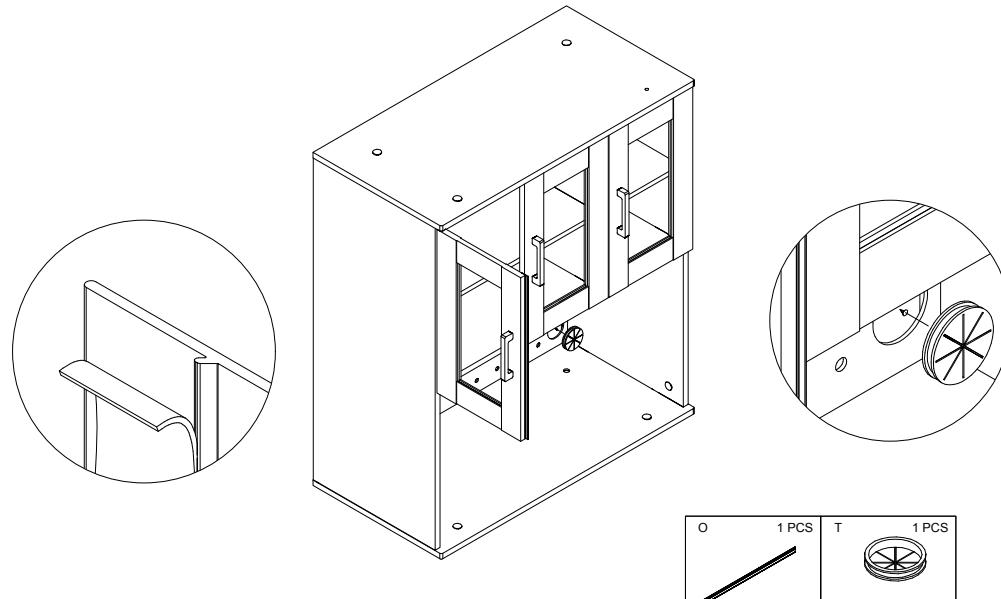
14 D棚ダボを③左側板・④右側板・⑤仕切り板の穴に差し込み、  
⑥移動棚(大)・⑦移動棚(小)を棚ダボの上に乗せて設置します。



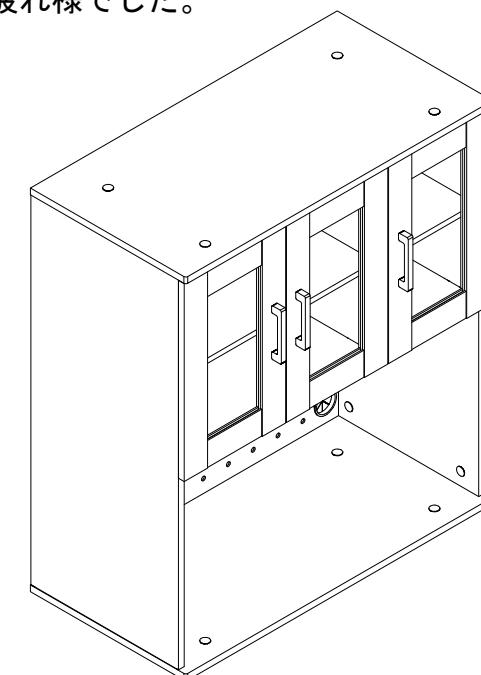
15 ①天板の上面の連結穴にS石目シールを貼って穴を隠します。  
裏面にはNキャップをはめて連結穴を隠します。



16 左側の⑫ガラス扉に○めし合わせを図のように貼り付けます。  
次に、⑪下背板にTコード穴カバーを取り付けます。



完成です。お疲れ様でした。



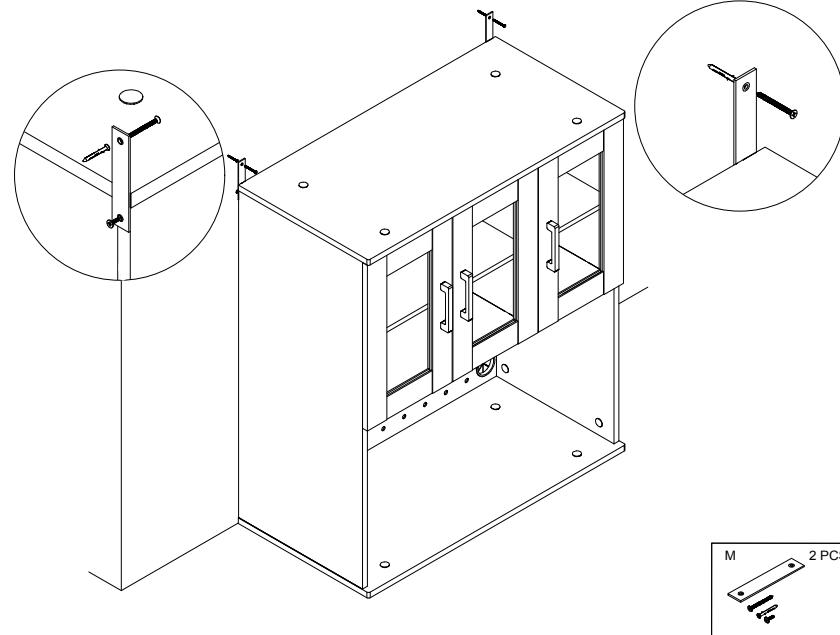
※転倒防止の取り付けについて

転倒防止バンドを専用ネジ(小)を使って  
図のように本体背面へ取り付けます。

その後、壁に本体を寄せ、  
専用ネジ(大)を使い、図のように壁へ取り付け  
固定します。

ネジだけで固定できない壁の場合は、  
アンカーを使って固定して下さい。

※アンカーを使用する場合は、  
壁にアンカーを入れる穴を開ける必要があります。



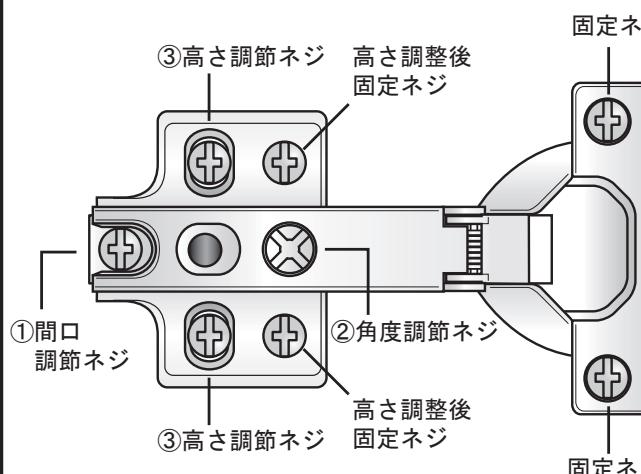
# ◆ ドアヒンジの調整方法

本体と扉をヒンジで取り付けた際に、扉が傾いたりずれていたりする場合は、ヒンジについている各種ネジを調整することで、扉を美しく取り付ける事ができます。調節するのが「間口調節ネジ」「角度調節ネジ」「高さ調節ネジ」の3箇所です。この3箇所を調節し、キレイに扉を取り付けられるコツをご紹介いたします。

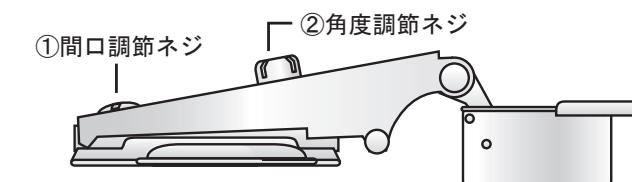
## ■ ヒンジの詳細

ヒンジの各部位を紹介いたします。主に調節するのが

①「間口調節ネジ」②「角度調節ネジ」③「高さ調節ネジ」の3箇所です。



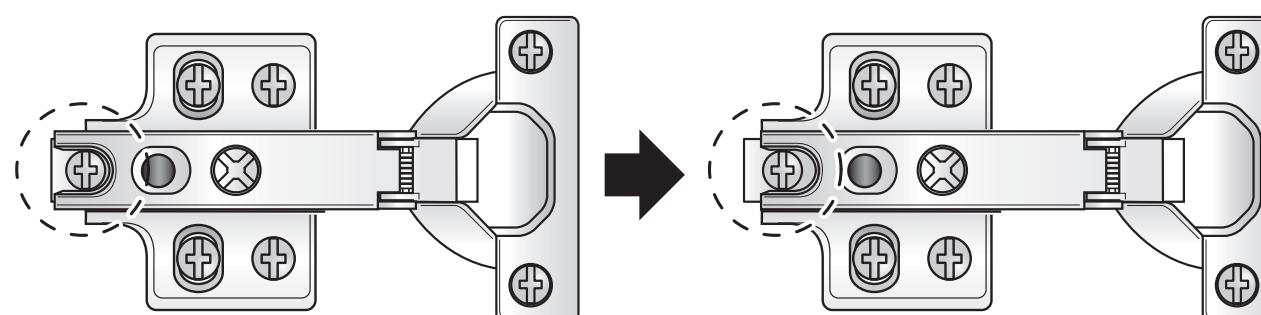
ヒンジ：上面図



ヒンジ：側面図

①間口調節ネジ…扉と本体の隙間を調節します。

まずは「間口調節ネジ」からご説明いたします。「間口調節ネジ」は扉と本体の間隔を調節する部分です。ヒンジを扉に取り付ける前に、事前に「間口調節ネジ」をゆるめて、スライド部分を約3mmほど出してネジを締めます。このスライド部分の出ている幅が広ければ広いほど扉と本体の間隔が拡がります。

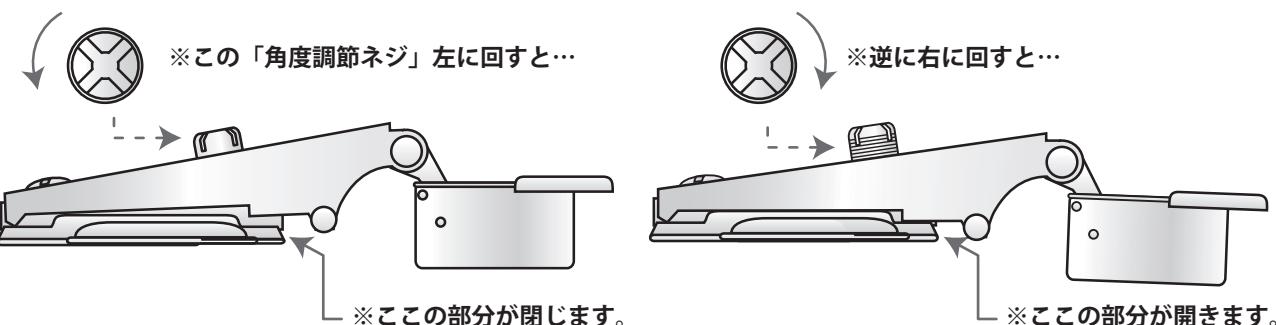


扉を本体に取り付けた後、扉を開閉してみて扉と本体の間隔をご確認ください。

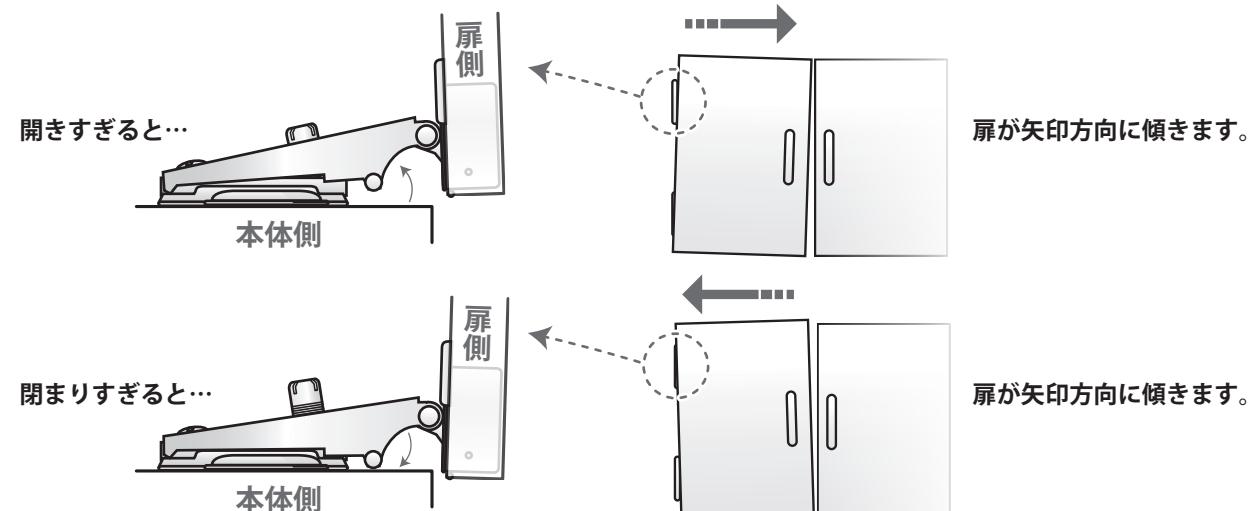
先ほど出した約3mmが丁度いい間隔の目安になりますが、もし開閉の際、扉の端が本体に当たるようでしたら、再度「間口調節ネジ」を緩めて微調整してください。

## ② 角度調節ネジ…扉の角度・扉同士の隙間を調節します。

続けて「角度調節ネジ」をご説明いたします。「角度調節ネジ」は扉の角度・扉同士の隙間を調節する部分です。



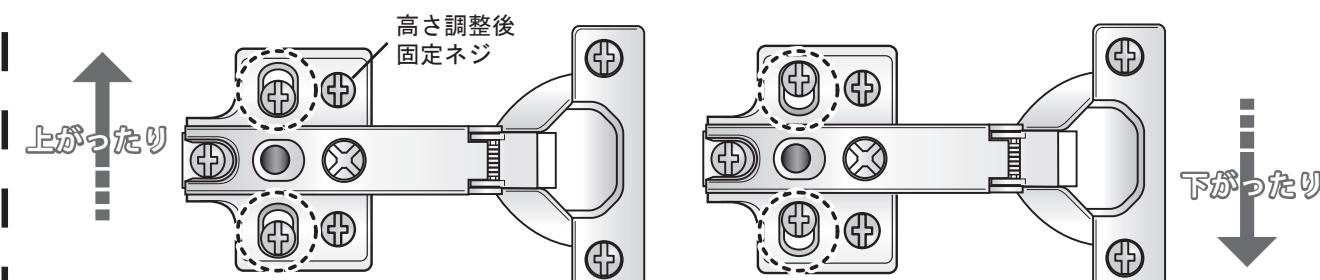
つまり、この角度調整ネジを回すことによって扉の角度・扉同士の隙間を調整できるわけですが…、



ヒンジは通常上下2つで1セットなので、「角度調節ネジ」を回すときは、上下のヒンジを合わせる必要があります。片方だけ角度が違うと扉の傾きの原因になりますので、扉の傾きが気になる時は、ネジの回転数(1回転、2回転….)を上下であわせて、ヒンジの角度を同じにしてあげる事で、扉をまっすぐ取り付けることができます。

## ③ 高さ調節ネジ…扉の高さを調節します。

最後に「高さ調節ネジ」をご説明いたします。「高さ調節ネジ」は扉自体の上下の位置を調節する部分です。



左右の扉の高さが違う場合は、この「高さ調節ネジ」を少し緩めて扉の上下の位置を調整し、

丁度いい高さのところで改めてネジを締め付けて下さい。

高さの調整ができましたら横の固定ねじで固定してください。

以上のことをふまえて調節することで、キレイに扉を取り付ける事ができます！

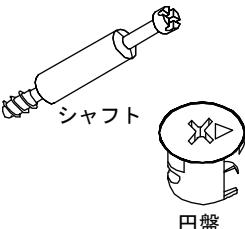
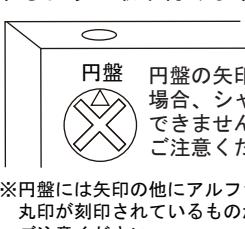
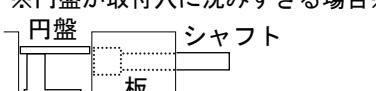
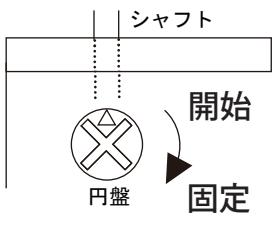
少しお手間はかかりますが、ぜひこれらを参考にチャレンジしてみて下さい！

※必ず、組立前にご確認ください。

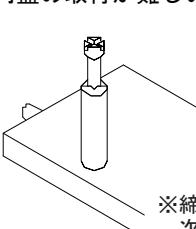
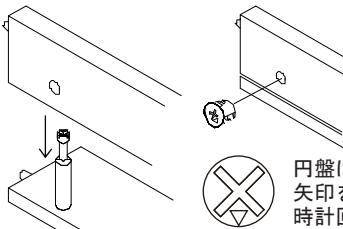
## 締付けシャフト/円盤の取付について、簡単な手順をご紹介いたします。

- 締付けシャフト/円盤を使用する商品は、個体差により組説の手順通りだと取り付けにくい場合がございます。作業前に下記の注意事項をご確認ください。
- 個体により、円盤を先に取付た状態だと円盤が取付穴に沈みすぎ、シャフトの挿入が難しい場合がございます。このような場合は、円盤を取付穴最奥から少し浮かせることで、シャフトの挿入がし易くなります。

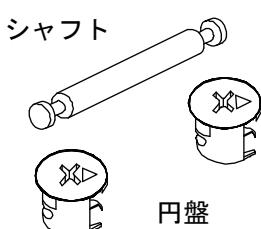
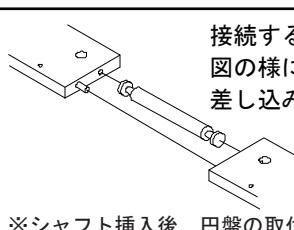
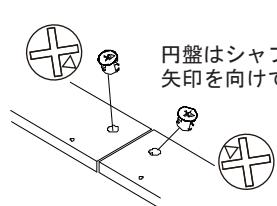
### 締付けシャフト・締付け円盤の基本

パーツ	円盤の取付向き	円盤にシャフトを差込む	締め方
「締付けシャフト」「締付け円盤」 2種類のパーツがあります。 	締付け円盤は、三角の目印が穴の開いている向き(シャフト側)に来るように取り付けます。  ※円盤には矢印の他にアルファベットや丸印が刻印されているものがありますので、ご注意ください。 ※円盤には矢印の他にアルファベットや丸印が刻印されているものがありますので、ご注意ください。	円盤にシャフトを差込みます。  ※円盤が取付穴に沈みすぎる場合※  円盤を少し穴の底から浮かせた状態でシャフトを差込みます。 	締付け円盤を時計回りに締め付け、しっかりと固定します。 

### ネジタイプの締付けシャフトについて

片側がネジになっている「シャフト」の取付手順を説明します。 	1.シャフトを板に取付ます ※ネジの締め具合に注意※ ネジ部が丁度隠れる程度が適切です。 円盤の取付が難しい際は見直してください。  ※締めすぎたり、緩る過ぎると次の工程が困難になる場合がございます。	2.円盤を取り付、固定します 接続する板をシャフトを取り付けた板と組み合わせ、次に円盤を矢印の向きに注意して取り付け、固定します。  円盤はシャフトの向きに矢印を向けて取り付け、時計回りに締め付け固定します。
---	--	--

### 双頭締付けシャフトについて

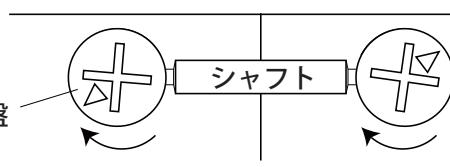
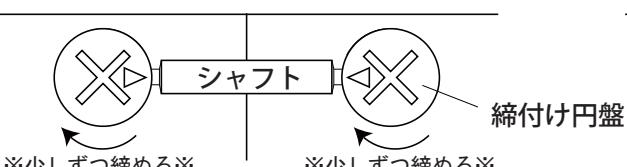
「円盤」を2つ使用する締付けシャフトの取付手順を説明します。 	1.シャフトを板に取付ます 接続する2枚の板に図の様にシャフトを差し込みます。  ※シャフト挿入後、円盤の取付穴をのぞき、シャフトが左右均等に入っているかご確認ください。 均等でない場合は調節してください。	2.円盤を取り付ます 次に締付け円盤を矢印の向きに注意して取り付けます。  円盤はシャフトの向きに矢印を向けて取り付けます。
--	--	--

### 3.締付け円盤を回して固定します。

片方を先に締めきってしまうと、反対側のシャフトの頭が円盤に上手く咬み合わない場合があります。  
必ず両側が噛み合っている事を確認しながら左右交互に締めて下さい。

開始

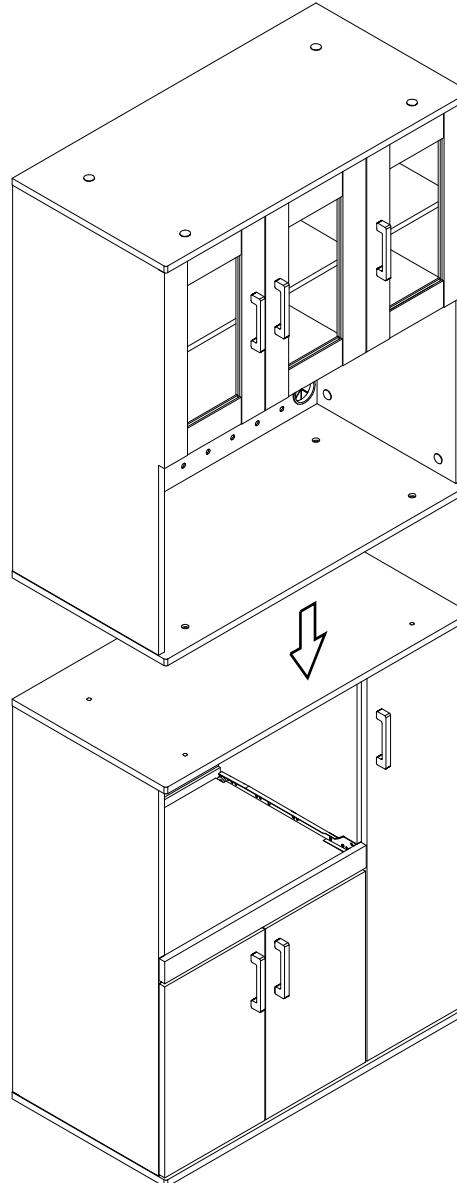
固定



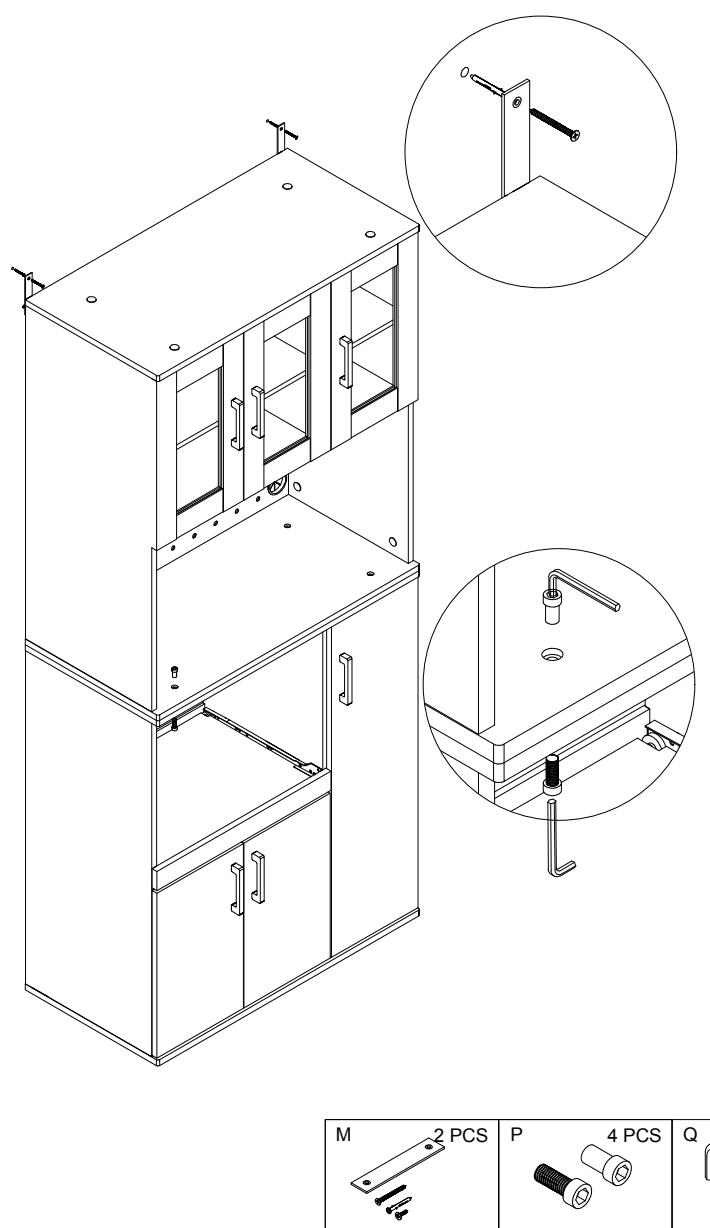
## <上下連結についての注意 80>

ガレットシリーズは同サイズでの上下連結が可能な商品です。  
下記の注意をよく読み、安全にご使用下さい。

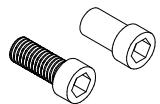
- ① 下段の上に上段を重ね、上段の地板と下段の天板の穴を合わせます。



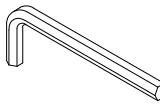
- ② 連結には必ず下記の用にP連結金具を使用して4ヶ所でしっかりと固定して下さい。  
また、安全のためM転倒防止を使って、壁に固定するようにして下さい。



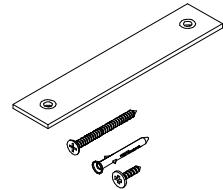
### 【必要部品】



P 連結金具



Q 六角レンチ



M 転倒防止

- ③ 連結可能な組み合わせは下記の6通りのみです。

下記以外での上下連結は危険ですので、連結しないで下さい。

